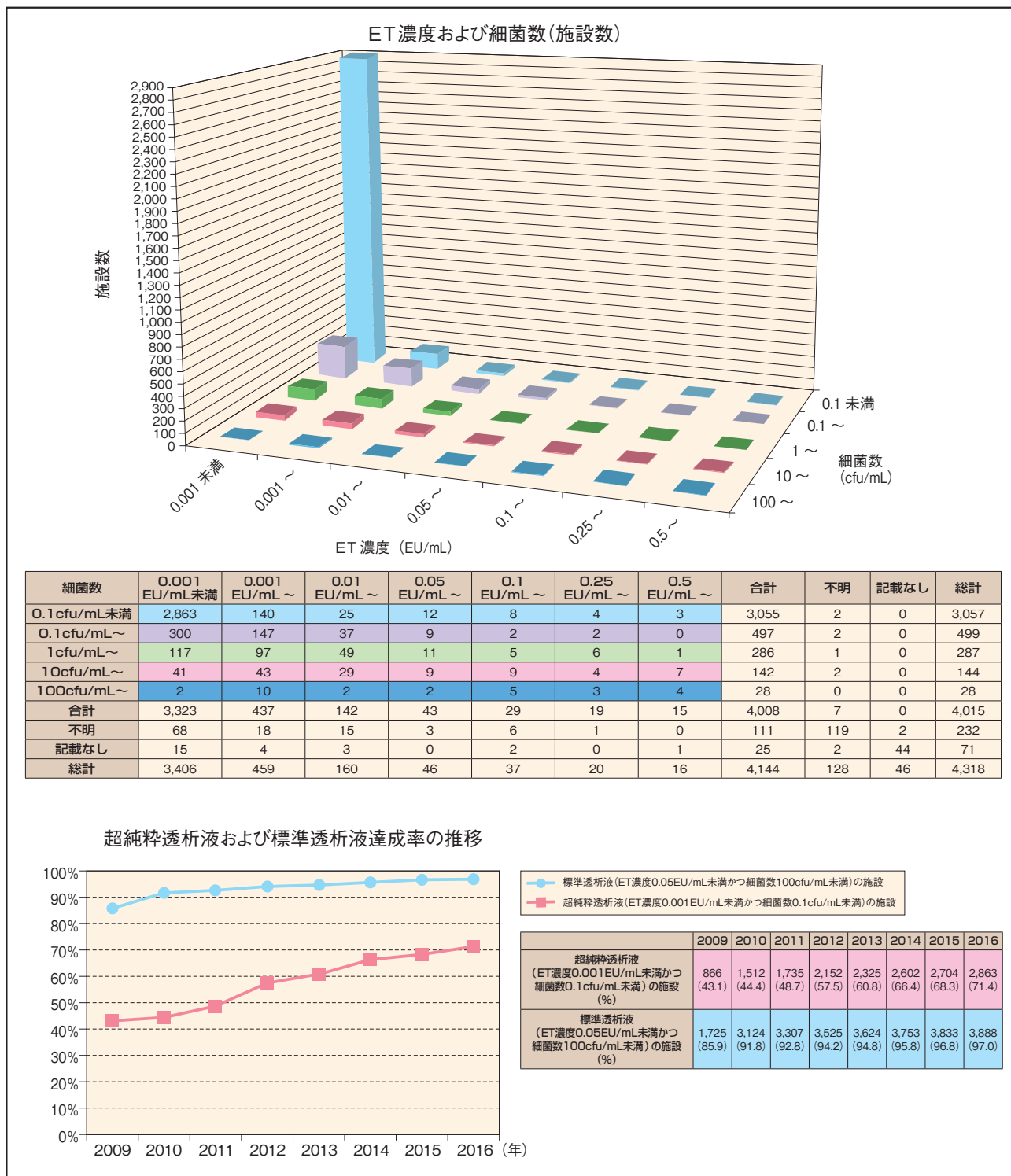


3) 透析液水質管理

(5) 透析液エンドトキシン (ET) 濃度と細菌数 (図表23)



施設調査による集計

解説

日本透析医学会水質基準では、UPDや標準透析液など透析液の細菌学的水質を規定するためには透析液ET濃度と細菌数の双方の数値を同時に満たさなければならない。透析液ET濃度と細菌数の双方に回答があった施設数は、4,318施設のうち4,008施設であった。このうちUPDの定義を満たしたのは2,863施設(71.4%)で達成、標準透析液は3,888施設(97.0%)で達成されていた。ET濃度と細菌数の両者に回答があった施設から算出した、UPDと標準透析液の達成率の経時変化を図に示すが、2009年以降経年的に改善している。